

63
72

開墾及耕地整理主任官會議要錄

農務局編

大正九年十月開催



始



63

72

大正九年十月開催

開墾及耕地整理主任官會議要錄

農商務省農務局

63-72

開墾及耕地整理主任官會議要錄

目次

一、農務大臣訓示……………一頁

二、農務局長指示……………三頁

 主任官會議出席者……………八頁

 主任官會議議事經過……………一一頁

 諮問事項及答申……………一九頁

 開墾事業ノ現況、趨勢並將來ニ對スル獎勵方針如何(答申別冊)……………一九頁

 本省提出協議事項及決議……………二二頁

 甲 開墾ニ關スル事項……………二二頁

 乙 耕地整理ニ關スル事項……………二二頁

一、地方提出協議事項及決議……………三九頁

大正
10. 3. 8
內交

開墾及耕地整理主任官會議要錄

農商務大臣訓示

茲ニ開墾及耕地整理主任官會議ヲ開催スルニ當リ一言スルハ予ノ欣快トスル所ナリ

國民ノ生活上必需缺クヘカラサル食糧問題ニ就テハ昨年ノ本會議ニ於テ所懷ノ一端ヲ述ヘタリ今ヤ食糧ノ問題ハ聊カ小康ヲ得タル觀ナキニアラスト雖是固ヨリ一時的ノ現象ニシテ之カ根本的解決ハ常時十分ノ努力ヲ以テ畫策スルノ要アルハ論ヲ俟タサル所ナリ就中其ノ根本的施設タル開墾及耕地改良ノ事業ハ其ノ性質上必要ニ迫リテ直ニ實現スル能ハサルモノナルカ故ニ特ニ不斷ノ努力ヲ以テ之カ進捗ヲ圖ラサルヘカラス

政府ハ曩ニ開墾助成法ヲ施行スルト共ニ農用機械貸與ノ途ヲ開キ耕地ノ開拓ヲ企圖シタルニ各府縣ノ指導獎勵ト相俟テ開墾事業大ニ勃興シ開墾助成ノ出願本年九月末ニ於テ六百八十餘件面積二萬八千町步ニ達シ今後益々増加ノ趨勢ナルハ甚タ喜フ所ナリ而シテ開墾事業ヲシテ永遠ニ其ノ効果ヲ收メシメント欲セハ農民ノ移住ニ對スル便宜ヲ供與セサル可カラス故ニ政府ハ本年度ニ於テ助成金豫算ノ增加ト共ニ新ニ開墾地移住獎勵費ヲ計上シ之カ獎勵ノ法ヲ樹テタリ又現在我邦ニ於テ農業水利狀況ノ不良ナル耕地面積ハ約九十萬町步ニ達シ年々水旱ノ被害尠カラズ從來各地方ニ於テモ耕地整理ノ獎勵ニ依

二
リ之カ改善ニ努メ其ノ成績觀ルヘキモノアリト雖尙水利關係ノ複雜ニシテ且其ノ範圍ノ廣汎ナル之カ改良計畫ヲ樹ツルハ決シテ容易ノ業ニ非ラス因テ政府ハ本年度ヨリ新タニ農業水利改良ノ計畫ヲ起シ調査ヲ施行シ實施計畫ヲ立案セムコトヲ期セリ

思フニ開墾及耕地改良ノ事業タル其ノ實行ニ當ツテ多大ノ資本ヲ固定シ其ノ收益ハ永年ノ後ニ互レリ故ニ之カ計畫ヲ爲スモノ實ニ堅忍ノ意思ト不斷ノ努力トヲ以テ功ヲ永遠ニ期セサル可カラス然ルニ近時經濟界ノ動搖ニ依リ各種事業ハ沈衰シ企業ハ挫折ヲ來スト共ニ斯業亦其ノ影響ヲ被ルハ免レ難キ事情ナルヘシト雖此難境ニ際シテ事業ヲ繼續シ能ク其ノ所期ノ目的ヲ達セムトセハ任ヲ各地方ニ奉シ直接指導監督ニ任セラル、諸君ニ於テ更ニ一層ノ努力ヲ以テ指導宜シキヲ得サル可カラス之レ本會議ニ於テ充分ナル審議ヲ望ム所以ナリ尙詳細ニ亘リテハ農務局長ヨリ指示スル所アルヘシト雖開會ニ方リ所感ノ大體ヲ述ヘテ諸君ノ留意ヲ望ム

農務局長指示

今回開墾及耕地整理主任官會議ノ開催ニ當リ茲ニ一言スル所アラムトス開墾及耕地整理事業獎勵ニ對スル本省ノ計畫並要望ニ付テハ今大臣ノ訓示アリテ其ノ大體ヲ盡サレタリ予ハ聊カ之カ細目ニ亘リテ所思ヲ陳ヘ諸君ノ留意ヲ希望セムトス

第一 開墾助成事務取扱ニ關スル件

開墾助成法施行以來本年九月末日迄ニ本省ニ到達セル助成金交付願六百八十二件助成金請求書百九十三件ニ達セルカ之等書類ノ進達ヲ見ルニ至ル迄ニ於テハ諸君ノ一方ナラサル努力ヲ要シタルコト勿論ニシテ大ニ其ノ勞ヲ謝スルト共ニ尙將來一層ノ努力ヲ望ム次第ナリ

助成事務ノ取扱方ニ付テハ從來取扱ヒタル所ニ依リ特ニ諸君ノ注意ヲ希望スル二三ノ事項ヲ擧ケレハ

一、地方廳ニ於テ開墾助成金交付願又ハ助成金交付請求書ヲ接受シタルトキハ必ス實地ノ調査ヲ勵行シ一層周到ニ審査セラレ之ニ附セラルヘキ地方長官ノ意見ハ的確公正ヲ期セラレタキコト(大正八年六月依命通牒開墾助成取扱順序第一項乃至第三項參照)

二、助成事務取扱上ニ付本省ヨリ發シタル各種通牒事項ハ之ヲ嚴守シテ遺漏ナカラシメ又書類ノ誤記違算等ナキヲ期シ照會往復ノ爲事務ノ滯滞ヲ來スコトナキ様注意セラレタキコト

三、助成地區ノ設計工事等ニ關シテハ耕地整理法ニ依ルモノト然ラサルモノトヲ問ハス一層指導監督ヲ周到ニシ事業ノ遂行上遺算ナキヲ期セラレタキコト
等ナリ猶本件ニ關シテハ本會議ノ協議問題トシテ提出セラレアルヲ以テ十分熟議ヲ遂ケ以テ事務ノ敏活、獎勵ノ的確ヲ期シ助成法實施ノ主旨ヲ貫徹スルニ力メラレムコトヲ望ム

第二 開墾監督技術官配置ニ關スル件

開墾助成事業ノ指導監督ヲ行フ爲前年度ヨリ地方廳ニ開墾監督技術官ヲ設置シタルモ未タ僅カニ技師、技手各十數名ヲ設置セルニ過キサハ甚タ遺憾トスル所ナルモ今後可成速カニ全府縣ニ漏ナク普ク配置スル見込ヲ以テ計畫シツツアリ地方廳ニ於テハ何レモ開墾事業ノ勃興ト共ニ助成事務激增シ益々事務ノ多忙ヲ極メラルル事ト思料セラルルモ本省ノ右趣旨ヲ諒トセラレ可成各員繰合ノ上事務ノ溢滞ナキ様努力セラレムコトヲ望ム尙此ノ事ニ付テハ先年大臣ヨリ各地方長官ニ注意セラルル所アリ茲ニ改メテ諸君ノ留意ヲ望ム次第ナリ

第三 開墾地移住獎勵ニ關スル件

今回開墾地移住獎勵費ヲ新設シタルカ其ノ趣旨ハ大臣ノ訓示アリタル通ニシテ開墾獎勵上重要ナル施設ニ屬スルモ是カ目的ヲ達スルハ決シテ容易ノ業ニアラサルカ故ニ十分ノ努力ヲ爲スヲ必要トス元來開墾地ニ移住者ヲ招致シ其ノ安定ヲ圖ル上ニハ計畫上着眼スヘキ點多々アルヘシト雖本施設ハ實施ノ創始ニ屬スルヲ以テ差當リ事ノ復雜ニ亘ルヲ避ケ先ツ移住農業者ノ家屋ノ建築ニ對シ獎勵

金交付ノ途ヲ開キ之ヲ中心トシ移住者ヲ其地ニ安定セシムル様指導獎勵ヲ行ハムトス而シテ該獎勵金ハ一戸平均百圓ニシテ本年度ニ於テハ三百戸ノ移住計畫ヲ以テ地方廳ノ施設ニ對シ補助ノ形式ニ依リテ之ヲ交付スルモノナルカ故ニ移住ノ獎勵ヲ必要トスル地方ニ於テハ速カニ相當豫算ヲ編成シ補助金交付ヲ申請セラルルヲ希望ス猶本件ニ關シテハ協議事項トシテ諸君ノ協議ヲ求メアルヲ以テ十分審議アラムコトヲ望ム

第四 土地利用計畫ニ關スル件

土地利用計畫ニ關シテハ本事業開始以來常ニ諸君ノ協力ヲ煩ハシ居ル次第ナルカ既ニ大正七年度分及大正八年度ニ於テ調査ヲ終了シタルモノ地區數ニ於テ百二十其ノ計畫面積中耕地擴張見込數ニ於テ約七萬四百餘町歩ニ達ス而シテ右ノ内其ノ印刷ヲ了シ計畫書ノ配布ヲ爲シタルモノ七十六地區擴張見込面積二萬六千六百餘町歩ナリ猶大正九年度ニ於ケル調査地區ニシテ既ニ實施調査ヲ終ルモノ二十五地區其ノ計畫總面積一萬六千餘町歩ヲ算シ着々進行シツ、アリ是等土地利用計畫ノ結果ハ本省、地方廳、協力ノ趣旨ニ基キ能ク之ヲ利用セラレ企業ノ誘致並其ノ實施ニ關シ獎勵指導ヲ盡サレムコトヲ望ム尙土地利用計畫ノ豫定地ニ關シテハ先ツ可成適切有望ナルモノヨリ之ヲ選定セラルル様一層ノ注意ヲ望ム

第五 開墾用機械利用ニ關スル件

農用牽曳機ヲ開墾事業ニ應用スルノ施設ハ本年度ニ於テモ前年度ノ例ニ倣ヒ地方要求ニ應ジ貸與シ

ツツアル次第ナルカ其ノ多クハ成績良好ナルモ往々ニシテ作業上支障ヲ生シタルコトモアリタリ然レトモ其ノ不成績ハ全ク機械ニ對スル不熟練又ハ過失ニ基クモノニシテ今後ノ努力ニ依リ改善スルコトヲ得ヘキ事項ニ屬ス從ツテ爾今益々實地ノ研究ヲ進メ操縦法ノ熟練ヲ遂ケ之カ利用ヲ増進セムトス又拔根機ニ就テハ從來貸與使用ノ成績ハ何レモ甚タ良好ニシテ其ノ効力優良ナルハ疑ヲ容レサル所ナルヲ以テ益々之カ應用ヲ勸奨セムトス而シテ本件ニ關シテモ協議事項トシテ提出シアリ諸君ノ熟議ヲ望ム

第六 農業水利改良計畫ニ關スル件

本年度ヨリ當省ニ於テ農業水利改良計畫ヲ行フコトハ既ニ大臣ヨリ訓示セラレタル所ナルカ本計畫ノ目的ハ先ツ主トシテ既耕地ノ農業水利改良ヲ勸奨スル爲實地ニ付事業ノ實行方法、企業ノ損益等ニ關スル計畫ノ綱要ヲ立案セムトスルモノニシテ之カ實行ニ對シテハ技師一人技手六人ヲ以テ一班ヲ組織シ全國ニ三班ヲ派遣シ以テ其ノ水利關係ノ數府縣ニ涉リ又ハ特ニ複雜錯綜セル等ノ爲メ計畫困難ナルモノニ付調査ニ從事セシメ實施計畫ヲ作成シ水利改良ノ實施ニ便セシムトスルモノナリ本計畫ニ付テモ各位ノ協力ニ待ツモノ多キヲ以テ各位ノ盡力ニ依リテ其ノ効果ヲ完カラシメラレシコトヲ望ム

第七 耕地整理事務進捗ニ關スル件

耕地整理事務就中工事完了後ノ諸手續ヲ進捗セシムルノ件ニ關シテハ屢々注意シタル所ニシテ該事業ノ獎勵上極メテ必要ナル事項ナルハ論ヲ俟タス本省ニ於テモ之カ進捗ヲ圖ル爲毎年府縣農會其ノ他ニ對シ地方事務講習ヲ委託シ本年モ既ニ德島、廣島、佐賀、富山ノ諸縣ニ於テ之ヲ開催シ事業關係者ニ對シ之ニ必要ナル知識ノ普及ヲ圖リ又司法省、大藏省等ニ於テモ此ノ點ノ留意シ工事完了後ニ於ケル事務進捗ニ付盡力シ居レルコトナレハ各地方ニ於テモ此ノ際係員ヲシテ整理施行者ヲ指揮獎勵シ以テ整理後速ニ諸手續ヲ完了セシムル様一層ノ注意ヲ望ム

第八 耕地整理事業資金ニ關スル件

耕地整理事業資金ノ要求ハ各地方共著シク増加シタルニ係ラス低利資金供給金額之ニ伴ハサルヲ以テ著シク不足ヲ來タシ且ツ近時經濟界變動ノ爲一般ニ金融梗塞ノ結果甚タシク事業資金ノ融通ニ困難ヲ生シ爲ニ事業ノ進捗上支障ヲ見ントスルニ至リタルハ甚タ遺憾ニ堪ヘサル所ナリ當省ニ於テハ低利資金ノ供給ニ就テハ銳意努力シ居レルモ何分資金不足ノ關係上目下供給額増加ノ見込ナキヲ以テ此ノ際各地方ニ於テモ特ニ資金融通ノ途ニ付適當ノ方法ヲ講シ之カ緩和ヲ圖ラムコトヲ望ム

以上陳述セルハ予ノ特ニ注意セムトスル要項ナリ思フニ開墾及耕地改良ノ事業タルヤ國家經濟上並食糧充實上重大ナル任務ヲ負フモノニシテ萬難ヲ排シテ之カ目的ヲ達セサルヘカラス而シテ之カ成果ヲ收メンニハ中央地方協力一致シテ銳意其ノ事ニ當ラサルヘカラス爾ハ言ヲ待タス願クハ本會議ニ於テ相互ニ腹藏ナキ意見ヲ開陳シ十分ナル講究ヲ遂ケ以テ事業ノ將來ニ貢獻スル所アランコトヲ切ニ望ム所ナリ

主任官會議出席者

| 府縣名 | 官名 | 氏名 | 官名 | 氏名 |
|-----|----|--------|-----|-------|
| 北海道 | 技師 | 玉山 | 屬 | 野澤文治 |
| 東京 | 技師 | 宇都宮清綱 | | |
| 京都 | 技師 | 樺島多賀助 | | |
| 大阪 | 技師 | 上村敏行 | | |
| 神奈川 | 技師 | 野呂勇之助 | 屬 | 平岸卯之吉 |
| 兵庫 | 技師 | 遠藤正重 | | |
| 長崎 | 技師 | 武富憲時 | 屬 | 富樫幸次郎 |
| 新潟 | 技師 | 宮川波衛 | 屬 | 伊藤藤次郎 |
| 埼玉 | 技師 | 菊池重左衛門 | 屬 | 松尾爲作 |
| 群馬 | 技師 | 宮崎信太郎 | 兼技師 | 入江誠一郎 |
| 千葉 | 技師 | 山中謙輔 | 屬 | 松本留吉 |
| 茨城 | 技師 | 恒田嘉文 | 技師 | 岸田美登 |
| 栃木 | 技師 | 原田嘉種 | 技師 | |

| | | | | |
|----|----|--------|----|--------|
| 奈良 | 技師 | 八百谷照之助 | 屬 | 野田操 |
| 三重 | 技師 | 稻光 | 書記 | 小泉周一郎 |
| 愛知 | 技師 | 山北濱之助 | | |
| 靜岡 | 技師 | 遠山祥吉 | 技師 | 稻葉信宗 |
| 山梨 | 技師 | 加藤正擴 | | |
| 滋賀 | 技師 | 石川房吉 | 技師 | 森田雄藏 |
| 岐阜 | 技師 | 守能邦人 | | |
| 長野 | 技師 | 山田平五郎 | 技師 | 岡山寬之進 |
| 宮城 | 技師 | 青木毫三郎 | | |
| 福島 | 技師 | 穂坂申彦 | | |
| 巖手 | 技師 | 横田利喜一 | | |
| 青森 | 技師 | 山崎周善 | 技師 | 高橋正吉 |
| 山形 | 技師 | 村岡岩記 | 屬 | 佐藤嘉左衛門 |
| 秋田 | 技師 | 世間瀬千代松 | | |
| 福島 | 技師 | 淺井秀吉 | | |
| 石川 | 技師 | 市橋友次郎 | 技師 | 雄川孝三 |
| 富山 | 技師 | 川村長作 | | |

午後一時再會午前ニ引キ續キ本省提出協議案ノ中開墾ニ關スル事項第一、第二、第三ニ付夫々説明及
質問應答アリ
午後四時散會

第三日 (十月八日)

午前十時開會(會場ヲ赤坂區溜池町三會堂ニ變更)有働開墾課長議長席ニ河北耕田整理課長以下各係
官番外席ニ著キ前日ニ引キ續キ本省提出協議案ノ中開墾ニ關スル事項第三ニ付説明及質問應答アリ
正午休憩

午後一時再開本省提出協議案ノ中耕地整理ニ關スル事項第一、第二、第三及地方提出協議事項ニ付夫
々説明及質問應答アリ

右終テ本省提出協議案及地方提出協議案ヲ委員ニ附託シテ審議セシムル旨ヲ述ヘ左記委員ヲ指名ス

第一委員(十三名)

- (北海道) 野澤文治 (新潟) 伊藤坦 (埼玉) 菊地重左衛門
- (茨城) 岸田美登 (三重) 野田操 (愛知) 山北濱之助
- (長野) 岡本義雄 (山形) 高橋正吉 (秋田) 世間瀬千代松
- (廣島) 福永銀一 (熊本) 三尾純太郎 (宮崎) 林行治
- (鹿児島) 竹内末五郎

第二委員(十二名)

- (東京) 宇都宮清綱 (大阪) 上村敏行 (茨城) 恒田嘉文
- (愛知) 小泉周一郎 (福島) 穗坂申彦 (岩手) 横田利喜一
- (福井) 淺井秀吉 (富山) 川村長作 (鳥取) 木村眞五郎
- (山口) 前川純三 (愛媛) 中光良太 (佐賀) 田中清彦

第三委員(十二名)

- (北海道) 玉山豊 (神奈川) 平岸卯之吉 (兵庫) 遠藤正重
- (茨城) 中島愿三 (栃木) 原田嘉種 (静岡) 稻葉信宗
- (長野) 甲山寛之進 (青森) 山崎周善 (秋田) 佐藤嘉左衛門
- (島根) 淺野健一 (岡山) 沖彌五郎 (宮崎) 脇田儀祐

第四委員(十二名)

- (神奈川) 野呂勇之助 (埼玉) 松尾爲作 (群馬) 入江誠一郎
- (千葉) 山中謙輔 (三重) 稻光特 (滋賀) 石川房吉
- (長野) 山田平五郎 (宮城) 青木毫三郎 (岡山) 佐藤圭一
- (香川) 藤原高 (高知) 眞柄基 (熊本) 藤田通敏

第五委員(十二名)

(京都) 樺島多賀助 (長崎) 武富憲時 (新潟) 富樫幸次郎

(群馬) 宮崎信太郎 (静岡) 遠山祥吉 (滋賀) 森田雄藏

(山形) 村岡岩記 (富山) 雄川孝三 (和歌山) 飯塚惣一

(愛媛) 磯 義助 (福岡) 川内平造 (鹿兒島) 岩切貞熊

第六委員(十二名)

(新潟) 宮川波術 (千葉) 松本留吉 (奈良) 八百谷 照之助

(山梨) 加藤正擴 (岐阜) 守能邦人 (石川) 市橋友次郎

(廣島) 高原道生 (徳島) 柴戸良五郎 (香川) 田中一雄

(福島) 大竹憲成 (大分) 小宇佐 勘十郎 (沖繩) 三浦三平

各委員ニ附託シタル協議事項左ノ如シ

第一委員(移民)

本省提出 甲一

第二委員(助成)

本省提出 甲二、甲四

地方提出 新潟 一

三重 一

富山 一、二

高知 一

京都 一

長崎 一七

愛知 一

茨城 一八

長野 一、二

第三委員(農用機械)

本省提出 甲三

第四委員(水利)

本省提出 乙一、乙二

第五委員(資金)

本省提出 乙三

地方提出 茨城 一三

第六委員(前記以外ノ地方提出事項)

地方提出 新潟 二

島根 一、二

石川 一、二

北海道 一

岡山 一、二

静岡 一六

徳島 一

富山 三

埼玉 一

茨城 一一、一二、一四、一七

京都 二

三重 二

神奈川 一

秋田 一、二

鹿兒島 一

午後四時散會

第四日(十月九日)

午前九時各委員會開會

午後三時散會

第五日 (十月十一日)

午前九時各委員會開會

正午休憩

午後二時ヨリ岡本農務局長明日ヨリ出張ノ爲本會議ニ出席シ難キヲ以テ之カ挨拶ヲ兼テ農用機械ノ利用並資金供給ノ問題ニ付注意スル所アリ
午後二時半引キ續キ各委員會ヲ開ク
午後四時散會

第六日 (十月十二日)

午前十時開會有働開墾課長議長席ニ著キ直ニ本會議ニ入り各委員長ヨリ委員會審議ノ結果ヲ逐次報告セシメ討議ニ附シタリ

- 世間瀬(秋田縣技師) 第一委員長報告通可決
- 恒 田(茨城縣技師) 第二委員長報告通可決
- 原 田(栃木縣技師) 第三委員長報告通可決
- 稻 光(三重縣技師) 第四委員長報告通可決
- 村 岡(山形縣技師) 第五委員長報告通可決
- 宮 川(新潟縣技師) 第六委員長報告通可決

茲ニ議事全部ヲ終了シタルヲ以テ議長ハ諸般ノ決定事項ニ就テハ更ニ本省ニ於テ詳細審議ノ上相當處理スヘキ旨ヲ述フ

午後四時閉會

諸問事項及答申

開墾事業ノ現況、趨勢並將來ニ對スル獎勵方針如何
(答申別冊「道府縣開墾事業ノ概況」)

本省提出協議事項及決議

協議事項

甲 開墾ニ關スル事項

- 一、開墾地移住獎勵ノ實行上注意スヘキ事項如何
- 二、開墾助成法ノ運用ニ關シ改正ヲ要スル事項アラハ其ノ事項如何
- 三、トラクトル拔根機等ノ應用ヲ促進スル爲探ルヘキ方法如何
- 四、前各項ノ外開墾獎勵ニ關シ注意スヘキ事項如何

乙 耕地整理ニ關スル事項

- 一、農業水利改良計劃上注意スヘキ事項如何
- 二、農業水利改良事業ノ實行ヲ促進スル爲探ルヘキ方法如何
- 三、耕地整理事業資金缺乏ヲ補フ爲各地方ニ於テ探ルヘキ方法如何

決議

二十二

甲 開墾ニ關スル事項

一、開墾地移奨勵ノ實行上注意スヘキ事項如何

本項ハ第一委員會ニ附託シ審議セシメタル結果ヲ本會議ニ附シ可決シタルモノナリ

一、移住地及移住者ノ紹介

イ、紹介方法

(一) 移住地ニ於ケル紹介地ノ狀態保護條件其ノ他必要ナル事項ヲ本省ニ報告シ本省ニ於テハ之ヲ一括編纂シテ廣ク全國ニ配付サレタキコト但シ必要ト認メラレタル場合ハ其ノ都度官報又ハ農商務時報等ニ掲載シ或ハ謄寫版等ノ印刷ニ附シ機宜ニ適シタル處置ニヨリ紹介ノ勞ヲ執ラレタキコト

(二) 各府縣ニ於テ必要ニ應シ移住案内等ヲ作製シ周知ノ方法ヲ執ルコト

(三) 帝國農會、各府縣農會ニ紹介ノ勞ヲ執ラシムルコト

(四) 勞資協調會、職業紹介所等ト連絡ヲ取り紹介ノ勞ヲ執ラシムルコト

(五) 成績良好ナル移住者ヲ其ノ郷里ニ歸シ移住ノ地宣傳ヲ爲サシムルコト

ロ、紹介事項

(一) 移住地ノ狀況

(イ) 移住地ノ位置

(ロ) 交通

(ハ) 土地ノ現況

(ニ) 主ナル作物ノ反當收穫

(ホ) 移住地ノ地目別面積並移住收容戸數人口

(ヘ) 年度割移住戸數及地目別面積

(ト) 水利ノ狀況

(チ) 氣候

(リ) 衛生狀態

(ヌ) 土地ノ價格

(ル) 公租其ノ他ノ諸掛

(ヲ) 附近ノ副業狀態

(ヱ) 物資供給ノ便否

(カ) 教育宗教其ノ他ノ社會的設備

(ヨ) 移住地經營者ノ名稱又ハ氏名

二十三

(タ) 移住者ノ保護條件

(レ) 移住ノ時期

(ソ) 其ノ他必要ナル事項

(二) 移住希望者

(イ) 原籍、住所、職業、氏名

(ロ) 家族男女別數及其ノ年齢

(ハ) 資力ノ程度

(ニ) 農業上ノ經歷

(ホ) 希望條件

二、移住者ノ選擇

イ、勞働ニ堪ユル者二名以上ノ家族ヲ有スル者

ロ、成ルヘク農業ニ經驗アル者

ハ、相當資力ヲ有スル者

ニ、素行正シク意志鞏固ニシテ永住ノ決心アル者

ホ、成ルヘク風土、風俗、習慣ノ近似セル地方ノ者

三、移住者ノ保護

イ、國ニ於テ採ルヘキ方法

(一) 汽車、汽船ノ無賃又ハ割引ヲ爲スコト

(二) 低利資金ノ供給ヲ爲スコト

(三) 國有林野ノ拂下並必要ナル用材、薪炭ノ廉賣ヲ爲スコト

(四) 家屋建築費ニ對スル補助額ヲ増加スルコト

(五) 府縣ニ於テ家屋建築以外ノ事項ニ對シ保護ノ施設ヲ爲シタル場合ハ國庫ニ於テ相當補助金ヲ交付スルコト

(六) 家屋建築費ニ對シ府縣カ獎勵金ヲ交付セサル場合ト雖國庫ニ於テ補助金ヲ交付スルコト

(七) 家畜、種苗ノ拂下又ハ配付ヲ爲スコト

(八) 天災地變等ノ救助ヲ厚カラシムルコト

(九) 相當機關ニ依リ勞力調節ノ目的ヲ以テ急速ニ各府縣ノ勞力調査ヲ行ヒ適當ナル調和方策ヲ樹立スルコト

(一〇) 家屋ノ改築、増築等ニ對シテモ補助金ヲ交付スルコト

ロ、府縣ニ於テ採ルヘキ方法

(一) 開墾地ノ移住獎勵ニ關スル事項ハ主トシテ開墾及耕地整理事務所管課ニ於テ取扱ヒ相當設備ヲ爲スコト

- (二) 相當年間府縣稅ノ負擔ヲ免除スルコト
 - (三) 府縣ニ於テ家屋建築獎勵金ヲ交付スルコト
 - (四) 開墾地ニ對シ農事試驗場ヲシテ委託試驗及指導其ノ他獎勵ヲ爲サシムルコト
 - (五) 家畜、種苗ノ拂下又ハ配付ヲ爲スコト
 - (六) 天災、地變其ノ他凶作ノ救助ヲ厚カラシムルコト
 - (七) 町村ニ對シ移住獎勵金ヲ交付スルコト(宮崎縣ノ實例)
 - (八) 土地開發ニ必要ナル交通運輸ノ設備ヲ爲スコト
- ハ、開墾經營者ノ採ルヘキ方法
- (一) 移住者ノ土着安定ヲ圖ル爲宅地及耕地ノ一部ヲ無償又ハ年賦償還ノ方法ニテ移住者ニ讓渡スルコト
 - (二) 成ルヘク薪炭材、肥料、飼料等ノ採取地ヲ附屬セシムルコト
 - (三) 移住者ニ對シ適當ニ土地ノ割當ヲ爲スコト
 - (四) 成ルヘク耐久の家屋ヲ建築シ年賦償還其ノ他適當ナル方法ニ依リ漸次移住者ニ讓與スル方法ヲ講スルコト
 - (五) 移住者自身家屋ヲ建築スル場合ニ於テハ相當補助金ヲ交付シ又ハ建築材料ヲ與ヘ若ハ長期年賦償還ノ方法ニ依リ資金ヲ移住者ニ貸與スルコト

- (六) 小作料ハ相當期間免除又ハ輕減ノ方法ヲ採ルコト
- (七) 凶作其ノ他罹災ノ場合ニ於テハ相當小作料ノ減免、食料供給其ノ他必要ナル救助方法ヲ講スルコト
- (八) 成ルヘク永小作權、賃借權、地上權等設定ノ方法ヲ取ルコト
- (九) 移住當初ニ於テハ農具、食料、種苗、肥料等ノ購入ニ對シテハ希望ニ依リ貸與、給與ノ方法ヲ取り又ハ購入資金ニ對シ補助ヲ爲スコト
- (一〇) 家畜ノ購入ニ對シ相當補助金ヲ交付シ又ハ年賦償還ノ方法ニ依リテ賣却シ若ハ相當ノ方法ニ依リ貸與スルコト
- (一一) 旅費ヲ貸與シ若ハ給與スルコト
- (一二) 教育、衛生ノ施設ヲ完備スルカ爲移住部落ニハ小學校ヲ設ケ醫師並產婆ヲ置キ且簡易水道若ハ井戸ヲ設ケ飲用水ノ便ヲ圖ルコト
- (一三) 移住部落ニハ社寺、墓地等ヲ設ケ人心ノ安定ヲ圖ルコト
- (一四) 移住部落ニハ相當娛樂、修養機關ヲ設クルコト
- (一五) 開墾作業ニ要スル人夫ハ成ルヘク移住民ヲ使用シ勞働賃銀ヲ收得セシムルコト
- (一六) 副業ノ選擇、指導、獎勵及製作品ノ販賣斡旋ヲ行ヒ又ハ肥料、農具等ノ共同購入ヲ斡旋シ尙農產物ノ共同販賣ヲ行ハシムル方法ヲ執ルコト

(一七)信用組合、購買組合等ヲ設ケ資金ノ融通、貯金ノ便ヲ得セシメ尙肥料其ノ他必要品ヲ廉價購買ノ便ヲ圖ルコト

四、宅地配置上ノ基本的計畫

イ、配置方針

(一)小集團式配置法ニ依ルコト

(大正五年六月開墾耕地整理主任官會議協議事項
第三開墾、埋立、開拓地ニ於ケル宅地ノ配置案決議參照)

(二)位置ハ成ルヘク耕作ニ便利ナル地點トシ交通運搬並各種ノ共同施設ニ便ナル場所ヲ選フコト

(三)防害設備ニ注意スルコト

(四)成ルヘク四圍ノ事情ヲ參酌シ危險少ク安靜ニシテ且容易ニ避難シ得ラルヘキ場所ヲ選フコト

ロ、宅地ノ選定及家屋建築上ノ注意

(一)宅地選定上ノ注意

(イ)成ルヘク土地高燥ニシテ東南方ニ面シ排水可良ナル位置ヲ選フコト

(ロ)飲用水、防火用水、下水等ノ設備ヲ爲スニ便ナル場所ヲ選フコト

(ハ)防風、防砂等ノ設備ヲ爲スニ便ナル場所ヲ選フコト

(ニ)成ルヘク蔬菜畑ヲ所屬セシムルコト

(ホ)相當ノ餘地ヲ存スルコト

(二)家屋建築上ノ注意

(イ)相當間隔ヲ設ケ建築スルコト

(ロ)居間、作業場、畜舍等ハ成ルヘク別棟若ハ相當區劃ヲ設クルコト

(ハ)成ルヘク耐久の建築ヲ爲スコト

(ニ)成ルヘク通風、採光、保温ノ便ヲ圖リ衛生上ノ注意ヲ拂フコト

(ホ)家屋建築ハ各地方ニ適應セル型式ニ依リ成ルヘク附近ニ於テ得易キ材料ヲ使用スルコト

二、開墾助成法ノ運用ニ關シ改正ヲ要スル事項アラハ其ノ事項如何

本項ハ第二委員會ニ附託シ審議セシメタル結果ヲ本會議ニ附シ可決シタルモノナリ

一、開墾助成法第二條中助成金ノ年額ヲ百分ノ八以上ニ増額スルコト

二、開墾助成法施行規則第一條中施行面積五町歩以上トアルヲ一町歩以上ニ改ムルコト

三、同法施行規則第五條中助成金ノ請求書ハ事業年度終了後一ヶ月以内トアルヲ二ヶ月以内ニ改ムルコト

四、同法施行規則第七條中一切ノ支出金額中ヨリ府縣ノ補助金ニ相當スル金額ヲ控除セサルコトニ改ムルコト

- 五、開墾助成取扱順序中工事期間標準表ヲ適當ニ改メ小面積ノ獎勵ニ資シ並工事費ニ對スル助成期間トノ均衡ヲ得セシムルコト。
- 六、助成金交付ノ願書其ノ他一般ニ添附ヲ要スル圖面ハ可成簡略ニ大體ノ計畫ヲ知ルニ足ル程度ノモノニ改メ之ニ對スル様式ヲ示スコト(縮尺共)
- 七、夫役現品モ事業ノ爲支出シタル總金額ト同様ニ助成セラルル様法規ヲ改正スルコト
- 八、施行規則第十四條ノ委任事項ヲ擴張シ面積五十町歩以下事業費五萬圓以下ノ事業ハ地方長官ノ認可ニ改メラレタキコト
- 九、法規ノ解釋ハ事業ノ獎勵促進ニ資スル爲成ルヘク廣義ノ方針ヲ採リ且手續等ノ簡便ヲ期スルコト

三、トラクトル、拔根機等ノ應用ヲ促進スル爲採ルヘキ方如何

本項ハ第三委員會ニ附託シ審議セシメタル結果ヲ本會議ニ附シ可決シタルモノナリ

一、トラクトル

- 數縣ノ實地使用ノ成績ニ徴スレハ經濟的價值及使用法ニ於テ直ニ民間ニ其ノ利用ヲ推奨スル時期ニ達セス故ニ之カ應用ヲ促進スルニハ以下ノ方法ニ依ルヲ適當ナリト認ム
- イ、本省ニ於テ實用ニ適スル様研究セラレタシ
- (一)我國ノ開墾ニ適スル種類、大サ

(二)開墾ニ適スル農具

(三)廣ク利用ニ關スル研究等

ロ、當分ノ内本省直轄ニ使用セラレタシ

(一)現在ヨリ多數購入ノコト

(二)使用範圍ヲ廣ムルコト

(三)使用期間ヲ長クシ完全ニ目的ヲ達セシムルコト

(四)適當ナル操縦者ノ養成ニ勉ムルコト

ハ、府縣購入ノ場合ハ左ノ方法ヲ採ラレタシ

(一)關稅ヲ撤廢スルコト

(二)國庫補助ヲ多額ニ與フルコト

(三)極力本省ニ於テ便宜ヲ與ヘラレタシ

二、拔根機

- イ、利用價值ヲ速ニ試驗發表セラレタシ
- ロ、我國ニ於テ製造修繕出來得ル様研究セラレタシ
- ハ、本省ニ於テ成ルヘク多數購入貸與セラレタシ
- ニ、府縣カ購入スル際ハ多額ノ補助ヲ交付セラレタシ

三、其ノ他開墾ノ爲効用確實ナル特種機械器具等ハ成ルヘク本省ニテ多數購入貸與セラレ尙府縣ニ於テ購入ノ際ハ多額ノ補助金ヲ交付セラレタシ

四、前各項ノ外開墾獎勵ニ關シ注意ヲ要スル事項如何

本項ハ第二委員會ニ附託シ審議セシメタル結果ヲ本會議ニ附シ可決シタルモノナリ

一、開墾ノ獎勵ハ米價ノ安定ニ最モ大ナル關係ヲ有スルヲ以テ政府ハ豫メ相當價額ノ維持ニ對スル施設ヲ爲スコト

二、開墾事業促進ノ爲重要ナル工事ハ國費ヲ以テ施行スルコト

三、土地利用調査ハ基本調査、設計調査ニ區分シ急速ニ完了ヲ要スル現在程度ノモノノ外二府縣以上ニ亘ル地區、區域廣大ナル地區及主要工事ニ對シテハ直ニ工事ヲ施行シ得ル程度ノ設計ヲ爲シ實行促進ノ途ヲ開クコト

四、二府縣以上ニ跨ル地區及獎勵困難ナル地區ハ本省ニ於テモ積極的ニ施行ヲ獎勵スルコト

五、監督技術官ノ配置ハ明年度中ニ全國各府縣全部ニ及ホスコト

六、希望地多クシテ調査ヲ爲シ能ハサルハ大ニ獎勵ヲ害スルノ嫌アルヲ以テ地方ニ委託調査ノ途ヲ開カレタキコト

七、開墾獎勵ヲ徹底セシムル爲農用機械ノ外農牛馬及附帶農具ヲ貸與シ肥料並勞力ノ利用節減ニ力ムルコト

八、國有林野ノ開墾ニ關スル法規手續ヲ改正シ貸付地ノ決定ヲ迅速ニシ並貸付區域ノ擴張、料金ノ低減等十分ノ便宜保護ヲ與フルコト

九、官有水面ノ埋立干拓ニ關スル許可ヲ迅速ニシ十分ノ便宜ヲ與フルコト

一〇、資金ノ供給ハ開墾事業ノ生命ナルヲ以テ政府ハ開墾基金ヲ準備シ金融ニ支障ナカラシムルコト

一一、開墾地ノ經營、小作獎勵、維持管理並利用設備ニ關スル專務技術官ヲ置キ經營指導ニ力ムルコト

一二、開墾及移住ニ關スル既往ノ成績ヲ詳查シ之ヲ配付シテ指導獎勵ノ資ニ供スルコト

一三、水源ノ設備ニ對シテハ農業水利法ノ制定ト相俟テ開墾事業ニ對シテハ優先權ヲ與フルコト

一四、開墾設計ニ關スル必要ナル資料ハ政府ニ於テ十分ノ調査及試験ヲ實施スルコト

一五、耕地整理及土地改良獎勵規則ニ依ル國庫補助金ノ交付率年々低減スルハ開墾事業獎勵上支障尠カラサルヲ以テ政府ハ之カ増加配當ヲ爲スコト

乙 耕地整理ニ關スル事項

一、農業水利改良計畫上注意スヘキ事項如何

本項ハ第四委員會ニ附託シ審議セシメタル結果ヲ本會議ニ附シ可決シタルモノナリ

一、周到ナル調査ヲ行ヒ最モ適當ナル計畫ヲ樹ツルコト（農業水利改良計畫要項參考）

二、遺漏ナク關係地方ノ水利慣行ヲ調査シ尙其ノ慣行ニ付地方關係者ノ意見ヲ徴シ以テ改良計畫ニ

資スルコト

三、事業ハ終始計畫ニ基キテ之ヲ施行シ且其ノ施行中ハ特ニ(一)事業費 (二)工事ノ順序 (三)施行方法 (四)其ノ他必要ナル事項ニ付考慮スルコト

四、工事施行上必要ナル調査基標ハ相當期間保存シ得ヘキモノヲ用ヒ且之ヲ管理スルコト

希望事項

農業水利改良計畫ニ資スル爲農商務省ニ於テ適當ノ方法ニ依リ自然水ノ流出歩合ヲ調査セラレタシ山野溪谷ニ於ケル自然水ノ流出ハ實ニ我農業水利ノ淵源ニシテ其ノ流出量ヲ究ムルハ水利計畫ノ第一策タルナリ

而シテ此ノ調査ハ道府縣中其ノ適當ノ地ヲ選ヒテ之ヲ行ハハ其ノ得タル所ハ之ヲ汎ク同況ノ地ニ適用スルヲ得故ニ農商務省ニ於テ適宜計畫ヲ定メ直營又ハ委託等ノ方法ニ依リ之ヲ調査ヲ行ハレムコトヲ希望ス

農業水利改良計畫要項 (參考)

一、調査

イ、區境

地區、水利ノ現況、改良ノ要點、改良工事施行ノ緩急

ロ、地形

ハ、土質

ニ、氣象

ホ、農業

農耕地、經營

ヘ、水源

流水、瀦水、水源ト地區トノ關係

ト、灌溉

灌溉水量、灌溉方法

チ、排水

排水量、湛水、排水方法

リ、利用

水電、水運、飲用、水産、雜用

ヌ、水利關係

二、計畫

イ、水利改良

ロ、農耕地

ハ、影響

ニ、費用

ホ、收支見積對照

二、農業水利改良事業ノ實行ヲ促進スル爲採ルヘキ方法如何

本項ハ第四委員會ニ附託シ審議セシメタル結果ヲ本會議ニ附シ可決シタルモノナリ

一、農業水利ニ關スル法令ヲ制定スルコト

右法令ノ主要點左ノ如シ

イ、法律上水利權ノ性質ヲ明ニスルコト

ロ、農業水利ニ關スル行政ヲ農商務省ノ主管トシ之ヲ統一スルコト

ハ、水ノ使用、利用ニ關シテハ農業用ニ優先權ヲ與フルコト

ニ、水利審査機關ヲ設ケ水利ニ關スル關涉、配分、權利設定等ヲ審査決定セシメ地方長官ヲシテ

之ヲ執行ノ局ニ當ラシムルコト

ホ、農業水利權ハ當該水利ニ關係ヲ有スル農耕地所有者又ハ之ニ準當スル者ニ限り認ムルコト

二、農業水利改良事業ハ其ノ規模ニ從ヒ左ノ經營方法ニ依リ之ヲ實行スルコト

イ、第一次幹線又ハ第一次幹線ニ相當スルモノ若ハ之等ニ附帶スル工事又ハ設備ハ國營トスルコト

ト

ロ、第二次幹線又ハ第二次幹線ニ相當スルモノ若ハ之等ニ附帶スル工事又ハ設備ハ之ヲ道府縣營トスルコト

ハ、第三次幹線又ハ第三次幹線ニ相當スルモノ若ハ之等ニ附帶スル工事又ハ設備ハ之ヲ公共組合營トスルコト

三、農業水利改良事業ニ對シ國及道府縣ハ次ノ補助ヲ行フコト

イ、道府縣營事業ニ對シ國ハ事業費ノ五割以上ノ補助ヲ行フ

ロ、公共組合事業ニ關シテハ道府縣ハ五割以上ノ補助ヲ行ヒ又國ハ道府縣ノ其ノ補助金ニ對シ五割以上ノ補助ヲ行フ

四、農業水利改良事業ノ必要ナル所以ヲ宣傳スルコト

三、耕地整理事業資金ノ缺乏ヲ補フ爲各地方ニ於テ採ルヘキ方法如何

本項ハ第五委員會ニ附託シ審議セシメタル結果ヲ本會議ニ附シ可決シタルモノナリ

一、勸業銀行ニ債券ノ發行ヲ交渉シ各府縣ノ需求額ニ準シ貸附スルコト

二、縣債又ハ公債ヲ爲シ之ヲ貸附スルコト

三、農工銀行ニ債券ノ發行ヲ交渉シ各組合ニ對シ貸附スルコト

四、府縣郡市町村ノ基本金又ハ信用組合ノ資金ヲ運用スルコト

五、組合費ノ假徴收ヲ成ルヘク多クスルコト

- 六、増歩地ヲ假處分シテ資金ニ充ツルコト
- 七、無盡講ヲ起シ組合ニ先取特權ヲ與ヘ資金ニ充ツルコト

地方提出協議事項及決議

本項ハ第二、第五、第六委員會ニ附託シ審議セシメタル結果ヲ本會議ニ附シ可決シタルモノナリ

- 一、開墾助成法第二條第二項ノ規定ニ依ル總金額中ヨリ府縣ノ補助金ニ相當スル金額ヲ控除セサルコトニ關係法規ヲ改正セラレタシ

新潟縣提案(一)

理由

耕地整理及土地改良費補助規則第二條第二項ニ依リ府縣ニ於テ僅ニ百分ノ八内外ノ國庫補助金ヲ受クル爲事業ヲ行フ者カ府縣ノ補助金ニ相當スル金額ニ對シ一定ノ期間毎年百分ノ六ノ助成金ヲ受クルコト能ハサレハ甚タ不利益ナルニ由ル

決議

本件ハ可決採用ス

- 二、市町村内土地ノ字名改稱ニ關スル規定中耕地整理ノ爲市町村内ノ大字若クハ字ノ名稱ヲ改メ又ハ其ノ區域ヲ變更シタル場合ノ官報公告ハ之レヲ縣報ニ公告スル様内務省ニ交渉セラレタキコト

新潟縣提案(二)

理由

本文公告ハ尠カラサル手数料費用ヲ要スル爲印刷局ニ於テハ自然掲載ヲ遲延(本縣ニハ大正八年三月以降報告ノ分ニシテ未済ノモノ六十四件アリ)シ耕地整理登記上支障尠カラサルノミナラス字、地番等ハ一地方小部分ニ關スルモノニシテ廣ク全國ニマテ知ラシムルノ必要ヲモ認メサルニ依リ縣公告ニ改メ完了事務ノ進捗ヲ圖ラムトスルニ在リ

本件ハ撤回ス

三、耕地整理法第十五條ノ年期ヲ有セス又同法第十四條ノ適用モ受ケス單ニ暗渠排水ノ如キ區劃形質ニ何等變更ナキ工事ヲ施行スル爲換地處分並ニ地價配賦等ヲ爲スノ必要ナキ耕地整理ノ工事着手届、同完了届及申告書ニシテ稅務署ニ差出スモノハ之ヲ省略シ得ル様適宜法規ノ改廢ヲ望ム

岡山縣提案(一)

理由

前記種類ノ工事ヲ行ヒタル耕地整理ニ在リテハ施行規則第十三條ニ依ル換地説明書整理確定圖及地價配當案ヲ作ルノ必要ナキ點ヲ綜合シテ同則第十三條ノ意味ヲ窺フトキハ工事ノ着手完了届其他申告ヲ省略シ得ルモノト認ム

決議

本件ハ否決ス

四、耕地整理ニ關シ必要ナル戶籍謄本又ハ抄本ノ交付若ハ閱覽ヲ請求スル場合ハ其ノ手数料ヲ免除スル様適當ニ法規ノ改正ヲ望ム

岡山縣提案(二)

理由

從來耕地整理ニ關シテハ登録稅其ノ他各種ノ手数料ヲ免除シテ事業獎勵上特典ヲ與ヘタリ本件又之ニ倣ヒ手数料ヲ免除シテ其ノ特典ヲ附與セムトスルモノナリ(戶籍法第十四條參照)

決議

本件ハ可決採用ス

五、開墾助成法第二條中百分ノ「六」トアルヲ「十」ニ改正スルコト

富山縣提案(一)

理由

開墾助成法ノ趣旨ハ開墾事業當初收益ノ未タ擧ラサル期間ニ於ケル投入資本ニ對スル利息ヲ補給

スルノ精神ナリト認メラル然ルニ近時金融關係上金利非常ニ昂騰シ政府ノ低利資金以外到底年六分ノ如キ低キ利率ニテハ借入ノ見込ナク現今當業者カ開墾事業資金トシテ普通銀行ヨリ借入ルルモノハ日歩三錢五厘乃至四錢位ノ實況ナリトス斯クテハ事業獎勵上誠ニ遺憾ノ至リナルヲ以テ本改正ヲ望ム所以ナリ

決議

本件ハ希望トシテ可決採用ス

六、開墾助成法施行規則第一條中「五町歩以上」トアルヲ「一町歩以上」ト改正スルコト

富山縣提案(二)

理由

開墾助成法ニ依リ助成金ノ交付ヲ受クヘキ事業ハ五町歩以上ニ限定セラレタルモ本縣ニ於テハ五町歩以下ノ小面積ト雖獎勵スル必要アルヲ以テ右限定面積ヲ一町歩ト改正シ助成法ノ恩典ヲ浴セシムルニアリ之レ畢竟開墾事業ノ促進ヲ計ル所以ナリ

決議

本件ハ希望トシテ可決採用ス

七、地方産業職員優遇ニ關スル件

富山縣提案(三)

理由

現今地方産業職員制ニ係ル職員ハ同一官廳ニ在職滿十五ケ年ニ至ラサレハ恩給ヲ受クルコト能ハス然ルニ之等職員ハ不已得事情ノ下ニ轉任スルモノ多キカ故ニ現行公立學校職員ノ如ク各官廳ヲ通シテ滿十五ケ年以上在職スル時ハ國庫ノ恩給ヲ受クル途ヲ開キ以テ地方産業職員ヲ優遇セラレシムルコトヲ望ム

決議

本件ハ可決採用ス

八、開墾助成法施行規則第三條ノ指令書ハ可成迅速ニ下付セラレタシ

京都府提案(一)

理由

開墾助成金ノ交付ヲ出願シテヨリ十ヶ月ヲ經過シテモ尙其ノ指令書下付セラレサルコトアリ如斯ハ當業者ヲシテ甚シク危懼ノ念ヲ懷カシムルノ虞アルニ依ル

決議

本件ハ否決ス

九、耕地整理及土地改良獎勵費規則ニ依ル補助金額ノ率ハ府縣ノ豫算編成前
ニ一應内示セラレタシ

京都府提案(二)

理由

補助金交付率ハ年々減少ノ傾向アリテ豫算ノ運用上支障尠ナカラサルニ依ル

決議

本件ハ必要ナレトモ事實不可能ト認メ否決ス

一〇、耕地整理事業カ主トシテ水利ノ改良ヲ目的トスル場合ハ水利組合ニ於
テ耕地整理組合ノ設立ヲ議決シ其ノ認可ヲ申請シ得ル特例ヲ設ケラレタキ
コト

秋田縣提案(一)

理由

水利ノ改良ハ主トシテ水利組合ノ事業ニ屬スルモ耕地整理組合ノ事業ト相俟ツニアラサレハ其ノ
實現容易ナラサルノ狀況ナリ故ニ水利組合ニ於テ耕地整理組合設立ノ認可申請ヲ爲シ得ル特例ヲ

啓カルルニ於テハ急速水利改良ノ事業ヲ進捗セシメ得ヘシト認ムル所以ナリ

決議

本件ハ否決ス

一一、各事業年度毎ニ工事完了シタル部分ノ區域ニ限り換地處分ヲ爲シ得ル
特例ヲ設ケラレタシ

秋田縣提案(二)

理由

耕地整理事業ノ大ナル缺陷ハ事業完了ノ爲長年月ヲ要スルコト之レナリ故ニ各事業年度内ノ工事
完了區域毎ニ換地處分ヲ爲シ得ル特例ヲ啓カルルニ於テハ事業完了ノ期間ヲ短縮スルコトヲ得從
テ其ノ獎勵上一層ノ便宜アルヲ認ムル所以ナリ

決議

本件ハ否決ス

一二、防水堤(潮除堤防)費ニ對スル助成非助成區分ヲ耕地ノ面積ニ區分スト
アルヲ助成耕地ニ鹽溜面積ヲモ包含セシメ區分セラレムコトヲ望ム

愛知縣提案(一)

理由

埋立又ハ干拓ヲ行ハムトスル事業地ニ在リテハ潮位ノ關係上樋門ノ閉扉中悪水貯留場タル鹽溜ノ設置ノ要アルノ外尙耕作物保護上ニモ最モ其ノ必要アリ然ルニ助成ヲ受クルコト能ハサルニ依リ相當助成セラルヘキヲ至當ト認ムルニ依ル

決議

本件ハ否決ス

一三、開墾助成取扱順序第十工事期間標準表中反當事業費百圓以上ノモノニ對シテハ各制限町歩ニ對スル標準年限ヲ延長スルコト

長野縣提案(一)

決議

本件ハ希望トシテ可決採用ス

一四、開墾助成金交付願ノ添付書類中工事ノ年度割豫定及各年度又ハ各年ノ收支計算見込書中豫定ノ變更ヲ要スル場合ハ最終ノ事業年度ニ於テ變更ノ手續ヲ爲スコト

長野縣提案(二)

決議

本件ハ否決ス

一五、開墾助成取扱順序第十項工事期間標準表ヲ左記ノ通改正セラレタキコト

三重縣提案(一)

理由

物價ノ一般騰貴ニ伴ヒ反當三十圓未滿ニ於テ工事ヲ施行シ得ルモノ絶無ノ状態ナルヲ以テ之ヲ廢止シ四百圓未滿及五百圓未滿ト漸次一千圓以上ニ追ホシ助成期間ヲ延長スルヲ最モ時宜ニ適シタル改正ナリトス尤モ全期間ヲ十五年間ヨリ延長スルコト能ハストセハ第二表ヲ標準トシテ定メラルルコトニ設定シタシ

工事期間標準表 第一表

| | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|------|
| 町 | 五十圓 | 百圓 | 二百圓 | 三百圓 | 四百圓 | 五百圓 | 六百圓 | 七百圓 | 八百圓 | 九百圓 | 千圓 | 千圓以上 |
| 十町步未滿 | 未滿 | 未滿 | 未滿 | 未滿 | 未滿 | 未滿 | 未滿 | 未滿 | 未滿 | 未滿 | 未滿 | 以上 |
| 二十町步 | 一 | 二 | 三 | 四 | 五 | 六 | 七 | 八 | 九 | 一〇 | 一一 | 一二 |
| 三十町步 | 二 | 三 | 四 | 五 | 六 | 七 | 八 | 九 | 一〇 | 一一 | 一二 | 一三 |

| 町 | 五十町歩 | 百町歩 | 二百町歩 | 三百町歩 | 四百町歩 | 五百町歩 | 六百町歩 | 七百町歩 | 八百町歩 | 九百町歩 | 千町歩 | 千町歩以上 |
|-------|------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|-------|
| 町 | 未 | 未 | 未 | 未 | 未 | 未 | 未 | 未 | 未 | 未 | 未 | 未 |
| 五十町歩 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 |
| 百町歩 | 四 | 四 | 四 | 四 | 四 | 四 | 四 | 四 | 四 | 四 | 四 | 四 |
| 二百町歩 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 | 五 |
| 三百町歩 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 | 六 |
| 四百町歩 | 七 | 七 | 七 | 七 | 七 | 七 | 七 | 七 | 七 | 七 | 七 | 七 |
| 五百町歩 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 | 八 |
| 六百町歩 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 |
| 七百町歩 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 |
| 八百町歩 | 一一 | 一一 | 一一 | 一一 | 一一 | 一一 | 一一 | 一一 | 一一 | 一一 | 一一 | 一一 |
| 九百町歩 | 一二 | 一二 | 一二 | 一二 | 一二 | 一二 | 一二 | 一二 | 一二 | 一二 | 一二 | 一二 |
| 千町歩 | 一三 | 一三 | 一三 | 一三 | 一三 | 一三 | 一三 | 一三 | 一三 | 一三 | 一三 | 一三 |
| 千町歩以上 | 一四 | 一四 | 一四 | 一四 | 一四 | 一四 | 一四 | 一四 | 一四 | 一四 | 一四 | 一四 |

加算年限ハ全部三年トスル事
第二表

| 町 | 五十町歩 | 百町歩 | 二百町歩 | 三百町歩 | 四百町歩 | 五百町歩 | 六百町歩 | 七百町歩 | 八百町歩 | 九百町歩 | 千町歩 | 千町歩以上 |
|-------|------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|-------|
| 町 | 未 | 未 | 未 | 未 | 未 | 未 | 未 | 未 | 未 | 未 | 未 | 未 |
| 五十町歩 | 一 | 二 | 三 | 四 | 五 | 六 | 七 | 八 | 九 | 一〇 | 一一 | 一二 |
| 百町歩 | 二 | 三 | 四 | 五 | 六 | 七 | 八 | 九 | 一〇 | 一一 | 一二 | 一三 |
| 二百町歩 | 三 | 四 | 五 | 六 | 七 | 八 | 九 | 一〇 | 一一 | 一二 | 一三 | 一四 |
| 三百町歩 | 四 | 五 | 六 | 七 | 八 | 九 | 一〇 | 一一 | 一二 | 一三 | 一四 | 一五 |
| 四百町歩 | 五 | 六 | 七 | 八 | 九 | 一〇 | 一一 | 一二 | 一三 | 一四 | 一五 | 一六 |
| 五百町歩 | 六 | 七 | 八 | 九 | 一〇 | 一一 | 一二 | 一三 | 一四 | 一五 | 一六 | 一七 |
| 六百町歩 | 七 | 八 | 九 | 一〇 | 一一 | 一二 | 一三 | 一四 | 一五 | 一六 | 一七 | 一八 |
| 七百町歩 | 八 | 九 | 一〇 | 一一 | 一二 | 一三 | 一四 | 一五 | 一六 | 一七 | 一八 | 一九 |
| 八百町歩 | 九 | 一〇 | 一一 | 一二 | 一三 | 一四 | 一五 | 一六 | 一七 | 一八 | 一九 | 二〇 |
| 九百町歩 | 一〇 | 一一 | 一二 | 一三 | 一四 | 一五 | 一六 | 一七 | 一八 | 一九 | 二〇 | 二一 |
| 千町歩 | 一一 | 一二 | 一三 | 一四 | 一五 | 一六 | 一七 | 一八 | 一九 | 二〇 | 二一 | 二二 |
| 千町歩以上 | 一二 | 一三 | 一四 | 一五 | 一六 | 一七 | 一八 | 一九 | 二〇 | 二一 | 二二 | 二三 |

加算年限ハ全部三年トスル事

決議

本件ハ希望トシテ可決採用ス

一六、荒地復舊事業ニシテ林野ノ開墾ニ等シキ勞費ヲ要スルモノノ府縣ニ於ケル認定ノ標準ヲ定メラレタシ

高知縣提案(一)

決議

本件ハ可決採用ス

一七、農業土木設計上必要ナル資料ヲ得ルタメ各種ノ委託試験ヲ實施セラレタキコト

島根縣提案(一)

理由

從來農業土木設計上必要ナル實驗上ノ資料乏シク爲ニ計畫上種々ノ困難アルヲ以テ從來農商務省ニ於テ行ハレタル溜池試驗ノ如キモノヲ各種ノ材料ニ付委託試驗ヲ行ヒ以テ計畫上ノ便益ニ資セラレタシ

決議

本件ハ可決採用ス

一八、縣有ノ機械器具ヲ購入スル場合ニ於テ政府ハ其ノ資金ニ補助スルコト

理由

耕地整理及開墾事業ノ經費節約上將來益々機械器具ノ利用ヲ増進スル必要上縣有ノ機械器具ヲ購入スル場合ノ資金ニ補助セラレタキコト

島根縣提案(二)

決議

本件ハ可決採用ス

一九、耕地整理法中改正ノ件

耕地整理組合又ハ施行地區ニ代リ府縣又ハ郡カ事業ヲ行フコトヲ得ル様規定セラレンコトヲ望ム

定セラレンコトヲ望ム

理由

耕地整理組合設立又ハ共同施行認可ノ指令ヲ受ケタル後其ノ組合員又ハ施行者耕地整理法第五十條ノ條件ニ依ル同意ヲ得テ其ノ工事及事務ヲ縣又ハ郡ニ於テ施行出願スル場合ハ縣若ハ郡ニ於テ工事並事務ヲ施行シ得ル様規定セラレタシ蓋シ耕地整理事業中ニ於テハ往々工事ニ對スル經驗ナク其ノ監督及組合又ハ施行地區ノ事務遂行全ク困難ヲ極メ衷心其ノ施行ヲ縣又ハ郡ニ委託セムトスルモノアリ現行ノ規則ニ於テハ其ノ目的ヲ達シ難キヲ以テ寧ロ是等ノ事情アルモノハ其ノ事業ヲ縣又ハ郡ノ事業トシテ經營シ縣ノ經費ハ特別會計ヨリ支出シ之ニ要スル收入ハ費用ノ全部又ハ一部ヲ當該地區ヨリ納付セシムルコトトセハ完全ニ事業ヲ遂行シ且ツ換地交付ノ如キモ公平ナル處分ヲ爲シ得ヘク完了後ノ事務亦短時日ニ於テ完了シ缺陷ナキ成績ヲ舉クルコトヲ得ヘシ但シ縣又ハ郡ノ事業トナス場合ハ其ノ地方又ハ地區ノ主要人物ヲ網羅セル諮詢機關ヲ設ケ重要ナル事項ハ總テ之ニ諮詢セシムルノ要アルハ勿論ナリ

靜岡縣提案(一)

決議

本件ハ否決ス

二〇、耕地整理登記令其ノ他改正ノ件

現行耕地整理登記令ハ其ノ當事者ノ申請ヲ待テ登記ヲナスノ規定ナルモ一層事務ノ簡捷ヲ計ル爲耕地整理法第三十條第四項ノ地方長官ノ通知ヲ囑託登記ニ改メ換地説明書ニ依リ登記ヲ爲シ得ル様相當規定セラレムコトト望ム

静岡縣提案 (二)

理由

耕地整理登記令第四條第七條第七條ノ二ニ定ムル記載事項ハ換地説明書中ニ全部網羅セラレ第八條第一項亦妨ナシ只第五條第六條ノ事項ハ之ヲ換地説明書ニ添記セシムルモ支障ナク換地説明書中ニハ未登記ノ土地ニシテ耕地整理登記ニ必要ナキ部分ヲ交フルト雖登記官吏之ヲ分類スレハ足ルヘシ即當事者ノ申請ヲ待テ登記スルモノヲ地方長官ノ囑託ニ依リテ直ニ之ヲ登記シ得ルトノ差アルノミ而シテ如上ノ如ク實行セラルルニ至ラハ事務ノ進捗ヲ能クシ登記完了ノ遲滯ヲ防クコトヲ得ル等大ナル相違ヲ來スヘク認めラルルニ依ル

決議

本件ハ修正ノ上可決採用ス

本文中「耕地整理法第三十條第四項ノ地方長官ノ通知ヲ囑託登記ニ改メ」ヲ削除ス

二一、耕地整理法施行規則第二十一條第二十二條ノ收支豫算又ハ事業報告、收支決算報告ニ付除外例ヲ設クル件
耕地整理組合又ハ共同施行地區存續中ハ前掲手續ヲ要スル規定ナルモ工事完了後ニ於テハ殆ト必要ナシト認ムルヲ以テ事業報告ハ登記事務完了ノ年迄收支豫算及決算ハ工事完了ノ年迄之ヲ徴シ爾後手續ヲ省略スルコトヲ規定セラレムコトヲ望ム

静岡縣提案 (三)

理由

耕地整理事業ノ目的中「維持管理」ノ事業ナキモノニアリテハ債務完済ニ至ラサレハ解散スルコトヲ得サルヲ以テ事務完了後數年又ハ十數年間組合又ハ共同施行地區存續スルモノナリ故ニ豫算決算ノ多クハ(工事完了以後)借入金償還費ト之ニ要スル事務ニ付報告スルニ止マリ之カ取締又ハ狀況ヲ知ルニハ他ニ探ルヘキ方法アルヲ以テ事務簡捷上前掲ノ通改正方取計ラレタシ

決議

本件ハ可決採用ス

二二、耕地整理土地改良獎勵費規則中改正ノ件

右規則第二條第二號「耕地整理」ノ下ニ「土地改良」ノ四字ヲ挿入セラレムコトヲ望ム

静岡縣提案(四)

理由

現行規則ニ依レハ土地改良事業ニ就テハ府縣ノ補助金ニ對シ國庫補助ナキヲ以テ之ニ對シテモ耕地整理ト同様補助セラレタキニ依ル

決議

本件ハ可決採用ス

二三、耕地整理法施行ニ關シ農商務大臣内訓ノ中改正ノ件

右内訓第二項第三項第六項ニ定メタル設計書及規約ノ謄本ヲ添付シ報告スルノ規定ナルモ右ハ内訓第十一項ノ規定ニ依ルモノト同様制限ヲ撤廢セラレタシ

静岡縣提案(五)

理由

其ノ必要ナシト認ムルニ依ル

決議

本件ハ否決ス

二四、耕地整理事業ニ付事實上換地處分ヲ行ハサルモノノ圖面省略ノ件

耕地整理法施行規則第八條第七號、第八號ニ定ムル圖面ハ事實上換地處分ヲ行ハサルモノアリテハ設計上必要ノ部分圖ヲ以テ足ル旨相當規定セラレムコトヲ望ム

静岡縣提案(六)

理由

其ノ必要ナシト認ムルニ依ル

決議

本件ハ修正ノ上可決採用ス

本文中「省略」トアルヲ「簡略」ニ改ム

二五、耕地荒廢取締ニ關スル件

開墾事業ノ促進ニ關シテハ開墾助成法等夫々獎勵ノ途アルモ耕地ヲ荒廢セ

ル儘數年若八十數年ノ永キニ涉リ開墾セスシテ放擲スルモノニ關シテハ何等ノ制裁ナキヲ以テ生産増進上是等ニ關シテモ相當取締方法ヲ設ケラレムコトヲ望ム

北海道提案(一)

決議

本件ハ可決採用ス

二六、耕地整理法ニ據ラサル土地改良事業(農業上利用増進ノ目的ヲ以テ爲ス用惡水路ノ改良)費ノ府縣費補助費ニ對シ國庫ヨリ相當補助セラレンコトヲ希望ス

埼玉縣提案(一)

理由

耕地整理法ニ據ラサル土地改良ニ關シテハ之カ調査監督費ニ對シテハ國庫ヨリ補助セララルノ制度アルモ此ノ事業費ニ對スル府縣費ヲ以テ交付スル補助金ニ對シテハ國庫ノ補助下付セラレサルハ土地利用増進上甚タ遺憾トスル所ナリ而シテ本事業タルヤ簡易耕地整理事業ト何等撰フ所ナキヲ以テ相當補助セラレタシ

決議

本件ハ可決採用ス

二七、地方待遇職員令別表中奏任官待遇職員年俸ヲ奏任文官年俸第一號ニ判任官待遇職員月俸ヲ判任官俸給令中別表ト同一ノ額ニ昇サレムコトヲ望ム

三重縣提案(一)

理由

本縣ニ於ケル縣吏員ノ俸給令ハ既ニ奏任文官年俸表第一號及判任官俸給令別表ト同一ニ改正セラレタルヲ以テ縣吏員カ一給俸四千五百圓若八百六十圓ヲ支給セラル、ニ奏任官若ハ判任官ノ待遇ヲ受クル者カ四千圓又八百二十圓ヨリ支給ヲ受クルコトヲ得サル時ハ權衡ヲ失スルヲ以テナリ

決議

本件ハ撤回ス

二八、道路法發布以來耕地整理地區内ニ於ケル道路ト雖同法ニ該當ノモノハ工事施行ニ際シ道路管理者ノ許可ヲ要シ取扱上繁雜ナルヲ以テ耕地整理地區内ノ道路ニ對シテハ右許可ヲ要セサル様法規ヲ改正セラレタシ

神奈川縣提案(一)

決議

本件ハ可決採用ス

二九、國有林野ヲ耕地整理地區ニ編入シ又耕地整理組合ニ於テ地區外工事トシテ開墾ヲ爲サムカ爲メ之ニ關スル認許申請書ヲ地方廳ヨリ大林區署ニ送附シタル場合之レカ實地檢査及其ノ決定ニ付尠カラサル日子ヲ要シ爲メニ工事施行ノ時期ヲ失シ事業獎勵上遺憾ノ點少カラス依テ成ルヘク簡易迅速ニ進涉スル様御配意ヲ望ム

石川縣提案(一)

決議

本件ハ可決採用ス

三〇、大正元年十月農第三一二號内訓第十一項中特殊工事費何レモ五千圓トアルヲ壹萬圓ニ範圍ヲ擴張セラレ度シ

石川縣提案(二)

理由

現今ノ如ク物價騰貴シタル時ニ於テハ小地區ニシテ五千圓以上ヲ要スル特殊工事非常ニ多キヲ以テ壹萬圓以上トセラレタシ

決議

本件ハ可決採用ス

三一、耕地整理法第十四條第三項開墾ニ等シキ勞費ヲ要スル地目變換ヲ開墾ト看做スヘキ勞費ノ程度及其ノ算出方法協定ノ件

德島縣提案(一)

理由

本件ニ關シ別紙甲號ノ通本縣ヨリ丸龜稅務監督局ヘ照會セルニ乙號ノ通回答アリ然ルニ右回答書中二十年ナル制限ハ永キニ失スルモノト被認且斯ノ如クニ實行セムトスルトキハ稀有ノ事實ニ屬ス即チ耕地整理法第十四條第三項ノ規定ヲ殆ント空文ニ歸セシムルヲ以テ右年限ヲ短縮セラレムコトヲ大藏省ヘ交渉セラレンコトヲ望ム

參照

甲號 大正八年十二月十五日

德島縣

丸龜稅務監督局宛

耕地整理ニ關スル件

耕地整理事務取扱上左記事項承知致度候ニ付御回報相煩度及照會候也

記

耕地整理法第十四條第三項開墾ニ等シキ勞費ヲ要スル地目變換ノ開墾ト看做スヘキ勞費ノ程度及其ノ算出方法

乙 號 大正九年三月四日

丸龜稅務監督局

德島縣宛

客年十二月十五日附ヲ以テ御照會相成候耕地整理地價据置年期ニ關スル件ハ左ノ通御了知相成此段及回答候也

左記

耕地整理法第十四條第三項ノ開墾ニ等シキ勞費ヲ要スル地目變換ニシテ開墾ト看做スヘキモノハ工事ノ難易實地ノ狀況等ニ依リ認定スヘキ事項ニシテ一定ノ標準ヲ以テ之ヲ律スヘキモノニ非スト雖地租條例第十六條トノ均衡上新地目ニ付シタル土地ヨリ生スル收益ト原地ヨリ生スル收益トノ差額ヲ以テ投資費用ヲ償還スル場合ニ於テ其ノ年數二十年以上ヲ要スル程度ノ地目變換ヲ以テ開墾ニ等シキ勞費ヲ要スルモノト認ムルヲ穩當トス

決 議

本件ハ可決採用ス

(三二) 開墾助成法施行規則第五條中一ヶ月内ニ農商務大臣ニ請求書ヲ差出スヘシトアルヲ地方廳ニ提出スレハ可ナル意味ニ承認アリタシ

長崎縣提案(一)

理由

縣ニ於テ一ヶ月以内ニ實地調査ノ上進達ハ困難ナルニ依ル

本件ハ番外ヨリ説明アリ撤回ス

(三三) 夫役現品換算金ハ(大正九年四月廿一日開墾課長通牒)助成スル事ニ取扱ハレタシ

長崎縣提案(二)

理由

事業施行上ニハ勿論費用賦課徴收ニ當リ夫役現品賦課スルヲ適當ナリトスル場合アルニ依ル

決 議

本件ハ可決採用ス

六十二

三四、(大正九年五月六日
農務局長通牒)買收敷地ヲ示ス圖面添付ヲ省略スルコトニ取扱ハレタシ

長崎縣提案(三)

理由

設計書ニ添付セルニ依ル

決議

本件ハ否決ス

三五、團地内外共導水路溜池等ノ敷地ノ買入土地代金ニ對シテモ助成スルコトニ取扱ハレタシ

長崎縣提案(四)

理由

團地外ノモノノミニ對シテ助成スル時ハ強テ團地外エナサントスル弊ヲ生シ又耕地整理事業トスル場合ニ強制編入ノ關係上地區内(團地内)トセサルヘカラサルニ至リ助成金ヲ受ケサルニ依ル

決議

本件ハ否決ス

三六、開墾取扱順序第十二中初年度助成金額ヲ月數ニ應シ計算ストアルヲ百分ノ六ヲ交付ノ事ニ取扱ハレタシ

長崎縣提案(五)

理由

助成金額ノ關係上事業(耕地整理事業)年度半ニ着手セサル結果ヲ來スニ依ル

決議

本件ハ否決ス

三七、請求書添付ノ第五號ノ様式工事進捗ノ程度備考中ノ歩合算出ノ要領ノ記載ヲ除クコト

長崎縣提案(六)

理由

計算ノ要領ヲ記スルハ復雜ナルト正確ナルモノヲ得ルハ困難ナルニ依ル

決議

本件ハ否決ス

三八、開墾助成法施行規則第二條第一項第一號ノ設計書(工事年度割豫定、明

六十三

細書ノ單價、其ノ他(簡單ナルモノ及同第三號ノ事項又ハ第五號ノ契約並第六號ノ事項ノ變更認可ハ地方長官ニ委任セラレタシ

長崎縣提案(七)

決議

本件ハ否決ス

三九、換地處分認可後換地ノ丈量其ノ他ニ錯誤アリタル場合換地處分更正認可ニ關スル條項設定ノ件

茨城縣提案(一)

理由

換地處分ノ認可ヲ爲シタル場合換地説明書中ニ丈量ノ誤謬割當其他各種ノ錯誤アルコトヲ發見シタル場合ト雖耕地整理法第八十八條ノ異議申立者ナキ限リハ之ヲ以テ適法ナル處分トシテ確定スル外ナク現行法中之カ矯正ノ途ナキヲ以テ法令中ニ之カ條項規定ヲ望ム

決議

本件ハ否決ス

四〇、地價配賦ニ關スル丈量ヲ地方廳ニテ施行シタルモノヲ認ムルコト

茨城縣提案(二)

理由

整理後土地各筆ノ丈量ハ確定圖調製ノ際地區若ハ縣ニ於テ執行シタルモノヲ地價配賦ノ際再ヒ所轄稅務署ニ於テ測定スルヲ以テ二重ニ丈量ヲ爲スコトトナル依テ今後ハ地區ニ於テ丈量シタルモノハ縣ニ於テ丈量檢査ヲ爲シ又縣技術員ニ於テ丈量シタル場合ハ其ノ儘確面積ト爲シ地價配賦ノ際稅務署ハ縣ノ丈量ヲ認メ再ヒ丈量ヲ爲ササルコトニ大藏省ニ交渉ヲ望ム

決議

本件ハ否決ス

四一、組合會議員ノ選舉ヲ規則第四十五條ノ總會ニ於テ同時ニ選舉シ得ラルル規定ヲ設クルノ件

茨城縣提案(三)

理由

組合會議員ノ選舉ヲ規則第四十五條ノ總會ニ於テ同時ニ執行セハ工事着手前ニ於ケル手續ノ一ヲ省略シ得ルヲ以テ從ツテ工事着手ノ期間ヲ早ムルノ利益アルニ因ル但シ改選期ヨリ普通選舉會ニ於テ選舉スルモノトス

決議

本件ハ可決採用ス

四二六、耕地整理登記令第八條ノ二ノ代位登記ハ共同施行ニモ適用シ得ルコトニ改正ヲ望ム

茨城縣提案(四)

理由

現行法ニテハ本條ノ規定ハ組合ニノミ適用シ共同施行ニハ適用セサル趣旨ナルヲ以テ之ニ對シテモ適用スルコトニ改正セムトス

決議

本件ハ可決採用ス

四三三、規則第十九條第三項ニ依ル總會ノ議決ヲ評議員會ニ委任ノ件

茨城縣提案(五)

理由

換地ノ一部ニ該當スル從前ノ土地ニ付所有權移轉ノ登記ヲ爲シタル者アルカ爲換地説明書ノ更正ヲ要スル場合ニ於ケル總會ノ議決ヲ評議員會ニ議決スルコトヲ得ハ大ニ手續ノ簡捷ヲ期スルノ便宜アルニ依ル

決議

本件ハ可決採用ス

四四、規則第五十九條第四項ニ依ル評議員會ノ議事ノ表決權ヲ議長ニ附與スルノ件

茨城縣提案(六)

理由

評議員會ノ議事ニ半數以上出席シ出席者ノ過半數ノ同意ニ依リ決スルノ規定ナルモ可否同數ナル場合ニ於テハ議長ノ決スル所ニ依ルコトニ改正ヲ望ム

決議

本件ハ可決採用ス

四五、整理施行地區内ニ在ル官有地編入ニ關スル件

茨城縣提案(七)

理由

地區内ニ在ル官有地ハ拂下ヲ爲シタル後ニアラサレハ地區ニ編入ヲ認可セサル旨大正八年十二月一日甲土第八〇九五號鹿兒島縣照會ニ對シ本年二月二十五日付內務大臣官房地理課長ヨリ通牒ア

リ其ノ趣旨ハ拂下ヲ爲シタル後ニアラサレハ編入ヲ許可セサル主旨ナルヲ以テ國有林野ト同様編入認許ヲ爲シタル後拂下ノ手續ヲ爲スコトニ内務省ニ交渉セラシムコトヲ望ム

決議

本件ハ可決採用ス

四六、規約例第二十六條ニ依ル補償金ニ對シ滯納處分適用スルノ件

茨城縣提案(八)

理由

本件ハ大正八年六月會議ノ際岐阜縣提案ニ依リ本會ニ於テ可決シタルモ未タ關係規定ノ改正ニ至ラサルカ如シ本件ハ強制執行ノ途ナキヲ以テ自然息納等ノ結果其ノ處分ヲ滯留スルノ弊アリ依テ法第七十九條中ニ包含セシムルコトニ相當法令ノ改正ヲ望ム

決議

本件ハ可決採用ス

四七、耕地整理登記令第八條ノ二ノ代位登記申請及土地台帳更正ノ爲申請アリタル場合ハ登記簿謄本又ハ抄本及戶籍謄本又ハ抄本若ハ證明書ヲ無償ニテ整理施行者ニ交付セラルル規定ヲ耕地整理法第九條中ニ尙戶籍謄本ハ施行地外ノ土地所有者ニモ無償交付セラルル様改正セラレタシ

茨城縣提案(九)

理由

耕地整理登記申請ニ關シ所轄稅務署土地臺帳ノ登記簿ト符合セサル場合ニ於テ土地所有者ニ代リ組合ヨリ申請ニ當リ變更更正登記又ハ稅務署土地臺帳更正ノ證憑書類トシテ提出ニ其ノ謄本又ハ抄本若ハ證明書ヲ町村役場又ハ登記所ヨリ請求スルトキハ料金徴收セラル、モ右ハ事業遂行上總テノ事務ノ遲延スルノ虞モアリ亦ハ一面ニ於テ稅務署土地臺帳謄本無償ニテ交付シ尙且ツ登記登錄稅ノ本稅ヲ免除セラレアルニ於テヤ右ハ當然無償ニテ交付スルヲ正當ト認メタルニ依リ法第九條中ニ本規定ヲ加フルコトヲ望ム

決議

本件ハ修正ノ上可決採用ス

本文中「施行地外ノ土地所有者ニモ」ヲ削除ス

四八、民有地ノミヲ以テ耕地整理ヲ施行シ其結果新ニ開設シタル國有地ヲ土地編入シタル場合ニ對シテモ耕地整理法第十三條第一項但書ノ恩典ヲ與ヘラレタキノ件

茨城縣提案(一〇)

理由

耕地整理施行ノ結果法第十三條但書ニ依リ國有地ノ面積カ從前ノ國有地面積ヨリ増加シタル場合ニ於テモ其ノ増加面積ニ平均地價額ヲ乘シタル金額ヲ控除シ其ノ結果ヲ現地價ノ合計額ト看做ス
恩典ヲ附與セラレタルモノナルカ故ニ全部民有地ヲ國有地ニ上地編入スル場合ニ於テハ當然其ノ面積ノ地價ハ前項同様ノ恩典ヲ附與スヘキヲ至當ナリト認メタル所以ニシテ之カ關係條項ノ改正ヲ望ム

決議

本件ハ否決ス

四九、耕地整理法第十四條第四項ノ地價ハ工事著手ノ際現況ニ依ル地價ヲ設定シ工事完了ノトキ從來ノ地域ニ依リ其ノ地價ヲ修正シテ同法第十四條第一項同様年期ヲ與ヘラレタキノ件

理由

地租ヲ課セサル土地ヲ編入シ地租ヲ課スヘキ土地ト爲シタルトキニ於テ工事完了ノトキ地價ヲ設

茨城縣提案(一一)

決議

本件ハ可決採用ス

定シ直チニ設定地價ニ依リ地租ヲ徵收セラル、規定ナルモ其ノ土地ノ現況ニ依リ一旦素地相當ノ地價設定ヲナシ工事完了ノトキ地價修正ヲナシ地味成熟ニ至ル迄ノ期間即チ法第十四條ノ二第一項ノ年期同様ノ特典ヲ設ケラル、コトヲ望ム

五〇、土地原簿様式改正ノ件

理由

茨城縣提案(一二)

現在ノ様式ニテハ事務執行上不便不尠ニ付更ニ耕地整理法施行規則第三十二條第一號第二號及同則第三十三條第一號ノ事項ヲ一冊トシテ地番順ニ記載スルヲ最モ便益ト認メタルニ依ル(現在様式ノ第二號様式ニ尙第三號様式ヲ集ムルコト、ナル)

決議

本件ハ否決ス

五一、開墾及耕地整理事業ニ對スル資金ハ勸業銀行及農工銀行以外ニ興業銀行其ノ他ヨリ供給ノ途ヲ講セラルル様法規ヲ改正セラレタキコト

茨城縣提案（一二三）

理由

開墾事業ハ特ニ多額ノ資金ヲ要シ耕地整理事業モ益々擴張セラル、ヲ以テ現在ノモノ以外ニ他ノ銀行其他ヨリ供給ヲ得ルニアラサレハ斯業ノ發達上大ナル支障アルヲ以テナリ

決議

本件ハ修正ノ上希望トシテ可決採用ス

本文中「其ノ他」ヲ削除ス

五二、國有林野貸付料金制限擴張ノ件

茨城縣提案（一四）

理由

國有林野法第十一條ニ依ル貸付地ノ條件中一ケ年貸付料金三百圓ヲ超ヘサルトキト規定シアルモ右ハ約十町歩内外ノ小面積ニ過キサルヲ以テ施行上支障少カラス故ニ耕地整理法ニ依リ施行スル場合ニ限リ一團地ノ林野ニシテ數年ニ亘リ伐採期ニ達スルモノハ一時ニ貸付セラル、様關係法規ヲ改正セラレタシ

決議

本件ハ可決採用ス

五三、國有林野ノ貸付料金低減ノ件

茨城縣提案（一五）

理由

國有林野ノ貸付料ハ現行ノ規定ニ依レハ開墾ノ着手又ハ成功ト否トヲ問ハス、貸付當時ヨリ徴收セラル、ノ規定ナルモ右ハ成功後徴收スルコト、シ料金ハ地味成熟ニ至ラサル初年ハ相當減額セラル、様内規ヲ改メラレタシ

決議

本件ハ可決採用ス

五四、國有林野水面ニ關スル委任事項改正ノ件

茨城縣提案（一六）

大正二年内務省訓令第一號（大正三年八月同第九號改正）ノ規定ニ依ル國有土地水面ニ關スル委任事項第一條第六項第六號埋立面積五町歩ヲ超ユルモノトアルヲ五十町歩ヲ超ユルモノト改ムルコト

理由

大正八年八月十三日內務省訓令第十號ヲ以テ國有土地水面ノ貸付又ハ賣渡豫約ヲ爲スヘキ面積二十町歩ヲ超ユルモノハ委任セラレサリシモノヲ耕地整理法ニ依リ耕地整理組合又ハ耕地整理施行者ニヨリ申請ノ場合ハ百町歩迄範圍ヲ擴メラレタルヲ以テ第六項中第三號ノ埋立面積モ耕地整理法ニ依ルモノニ限リ五十町歩迄擴張スルノ必要アルニ依ル

決議

本件ハ可決採用ス

五五、官有水面埋立、干拓ノ出願ニ對シ內務省ノ交渉シ可成迅速ニ許可ヲ與ヘラレタキコト

茨城縣提案(一七)

理由

出願後多年ニ亘リ放置スルハ機ヲ失スルノ嫌アルヲ以テナリ

決議

本件ハ可決採用ス

五六、開墾助成取扱順序中工事期間標準表ヲ左ノ通り改正セラレタキコト

| | | | | | | | |
|---------------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|
| 反當事業費 施行面積 | 三十圓未滿 | 五十圓未滿 | 百圓未滿 | 二百圓未滿 | 三百圓未滿 | 四百圓未滿 | 四百圓以上 |
| 十町歩未滿 | 二 | 二 | 二 | 三 | 四 | 五 | 六 |
| 二十町歩未滿 | | 二 | 三 | 四 | 五 | 六 | 七 |
| 三十町歩未滿 | | | 二 | 三 | 四 | 五 | 六 |
| 五十町歩未滿 | | | | 三 | 四 | 五 | 六 |
| 百町歩未滿 | | | | | 四 | 五 | 六 |
| 二百町歩未滿 | | | | | | 五 | 六 |
| 五百町歩未滿 | | | | | | | 六 |
| 五百町歩以上 | | | | | | | |

備考千町歩以上ハ適宜決定スルモノトス

茨城縣提案(一八)

理由

小面積開墾ト雖少クモ二年ヲ要シ殊ニ開田ノ場合ハ水源等ノ設備上工事完了迄ハ二三年ヲ要シ尙工事費モ三十圓以内ノモノ甚タ稀ナルヲ以テ施行面積二十町歩未滿千町歩以上及三十圓未滿ノ欄ヲ除キ欄内工事期間一年ヲ二年トシ三百圓以上ヲ四百圓未滿トシ更ニ四百圓以上欄ヲ設ケ工事期

間ヲ相當延長スルハ實際ニ適應スルモノトス

七十六

決 議

本件ハ可決採用ス

五七、耕地整理増歩地ヲ認メラレ之カ處分ヲ規約ニ規定スルコトヲ許サレタ
シ

鹿兒島縣提案(一)

理 由

増歩地ヲ處分シ工事費ノ一部ヲ補充スルコト、セハ資金缺乏ヲ補足スルノ一方法タルヘキヲ以テ
増歩地處分ヲ認メラレ内訓第十四號ヲ削除セラレタシ

決 議

本件ハ可決採用ス

大正十年二月二十一日印刷
大正十年二月二十五日發行

農商務省農務局

東京市深川區古石場町六番地

印刷者 淺野寅次郎

東京市深川區古石場町六番地

印刷所 中央印刷株式會社

電話本所 四九七二番

63
72

終